

サクラソウ サクラソウ科

Primula sieboldii E.Morren

鳥取県：絶滅危惧 類 (CR+EN)

環境省：絶滅危惧 類 (VU)

選定理由 減少顕著，生育環境悪化，採取圧，局限・孤立，希少性。

生態・形態 湿潤な草地に生育する小形の多年生草本。春植物。根茎は短く匍匐。県内では沢沿いの落葉樹林内に残存。葉は根出，卵状広楕円形，長さ4～10cm，浅欠刻状重鋸齒縁，基部は浅心形，葉脈凹入顕著。花は4～5月，淡紅色，散形花序，花柄は長く突出。花冠は基部が細長筒状で花弁は5分裂，径2～3cm。和名は花をサクラに見立てたもの。花粉の媒介には特定の昆虫の飛来が必要。

分布 北海道，本州，九州。

(県内) 江府町，日南町。

保護上の留意点 嚴重な採取防止。緊急に樹木の間伐等の保全管理が必要。

